

授業科目 機能看護学演習Ⅱ	科目概要・形式 2 単位 60 時間	配当年次 2 年 前期
科目責任者	大関信子	
担当者	上泉和子、鄭佳紅、角濱春美、藤本真記子、福井幸子、大関信子	
<p>1. 科目のねらい・目標</p> <p>機能看護学特論で学んだ概念や理論を研究の対象に適用しながら、研究課題に対する研究方法を検討する。</p>		
<p>2. 授業計画・内容</p> <p>【上泉和子・鄭佳紅】 研究課題に応じた研究デザインと、実施可能な研究方法について検討する。</p> <p>【角濱春美】 自らの研究テーマの計画書を作成、データ収集、論文化するにあたっての課題を抽出し、課題を明らかにするための行動（文献検討・フィールドワーク・インタビュー等）を行うことで、テーマや研究、看護についての視野を広げ、修士論文の質を向上させる。</p> <p>【木村恵美子】 研究テーマを明らかにするために適切な研究デザインを検討し、データ収集・分析等の具体的な方法を整理する。また研究に関する倫理面について検討し、理解を深める。</p> <p>【福井幸子】 研究課題に適した研究デザインを選定し、結果を導き出せ、実現可能な研究方法について検討する。</p> <p>【大関信子】 Cochrane Library/JBI 等を使い、ウィメンズヘルス上の健康問題に対する科学的エビデンスを基にした研究方法を検討する。</p>		
<p>3. 教科書、参考書</p> <p>各教員がテキストを指定するか、資料を配布する。</p>		
<p>4. 成績評価方法</p> <p>小論文で評価する。</p>		
<p>5. 受講要件</p> <p>看護師の資格を有すること。</p>		
<p>6. 社会人学生に対する配慮</p> <p>講義・演習の日時は、社会人学生と担当教員が相談して決めるよう配慮する。</p>		
<p>7. その他</p> <p>担当教員に事前連絡を取り、課題等の指示を受けること。</p>		